| 学校番号 | ３２２ |
|---|---|

# 令和８年度　体育科

| 教科 | 体育 | 科目 | スポーツ概論 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次（体育科） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 使用せず | | | | | | |
| 副教材等 | 基礎から学ぶスポーツ概論　（大修館書店） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、競技力を向上させる練習方法・練習計画及びスポーツライフの設計の仕方について選択するスポーツの課題について研究を行い、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中の課題作成については、授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などを記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解しているとともに、スポーツの推進及び発展に必要な「スポーツ概論」の知識・技能を身に付けている。 | スポーツの推進及び発展に必要な「スポーツ概論」における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、それらを他者に伝えている。 | 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための「スポーツ概論」における課題研究に主体的に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 選択するスポーツについて | 競技力を向上させる練習方法・練習計画及びスポーツライフの設計の仕方について<br>選択するスポーツの課題研究<br>・テーマ決定<br>・スケジュール設定<br>・データ収集・分析 | a: 競技力を向上させる練習方法・練習計画及びスポーツライフの設計の仕方について理解している。<br>b: 競技力を向上させる練習方法・練習計画及びスポーツライフの設計の仕方について、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様なかかわり方において、課題を発見し、思考判断するとともに、理由を添えて他者に伝えている。<br>c: 競技力を向上させる練習方法・練習計画及びスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察(ITC 端末で集約) | 学習カード(ITC端末で集約) | 観察、学習カード(ITC端末で集約) |
| 2学期・3学期 | 選択するスポーツについての課題研究 | 選択するスポーツの課題研究<br>・データ収集・分析<br>・課題原稿作成<br>・課題発表 | a:研究テーマに応じて対象に合わせて端的に集約し、表現することができる。目的、手順、所定の手続きに基づくデータの整理、考察、結論の手順でレポートや論文が作成できる。表計算、文書作成、プレゼンテーションなどの各種のソフトを活用して基本的な資料作成ができる。学校外の他者に応じた言葉や所作でコミュニケーションを取ることができる。<br>b: 研究課題について、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様なかかわり方において、課題を発見し、思考判断するとともに、主体的、合理的、計画的な解決に向けた自らの考えを他所に道筋を立て、論理的に他者に伝えている。<br>c: スポーツに関する課題研究に主体的に取り組もうとしている。 | 観察(ITC 端末で集約) | 学習カード(ITC端末で集約) | 観察、学習カード(ITC端末で集約) |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度